

商店街活性化のために 複数の視点を

質問 商店街活性化のために、地域の住民がもっと自分たちの町の商店街に、目を向けるような働きかけが大事と考えるが。

市長 どんな店があり、どんな商品を扱っているか、もっと情報発信が大切と考える。大型店やインターネットショッピングにはないものを創っていく必要がある。

質問 商店街活性化のために、これからの時代を考えた福祉の視点など、複数の視点で見ていく必要があるのではないか。様々な団体との連携も大事である。

市長 商店街活性化は商工部門だけといったことではなく、他の部門との連携も必要と考える。

ボランティアごみ袋の活用を

質問 公園の落ち葉の処理など、公共施設での清掃は、高齢化などの影響で大変になってきている。ボランティア



いしばか 飯坂 かずや 一也 議員(公明党)



わが町の商店街の活性化を

を募集したり、啓発のためにボランティアごみ袋を活用するなど新たな取組みも必要と考えるが。

市長 親子で取り組めるボランティアごみ袋などを検討していきたいと考える。

幼保、教育施設再編は子どもの視点で早期取組みを

質問 将来、江刺東中学校区において、新たに小学校区が形成されたとしても、住居数はあっても世代間の同居人数の減少と出生数の減少などを踏まえると心配は尽きない。これまでであった公立の施設が縮小、廃止になって行くのは寂しい。しかし、子育ては待ったなしであり、再編は子どもの将来を思う時、山間地の江刺東中学校区の玉里、米里、梁川、広瀬地区を総合的に一体的な取組みの考え方も必要では。

子どもの視点と地域住民の意見を大切にされ、どこに住んでいても対応するシステムを構築することで全てに足並みがそろって進んで行ける計画の策定を期待する。

市長 中山間部の玉里、梁川、広瀬の3保育所を平成三十二年以降に集約して認定こども園に進められるが、米里地区の子どもも含めて検討することを確認した。今後、学校区と通園範囲が必ずしも一致するとは限らず必要に応じて調整を図って行く。

人口減少時代を迎え、今後、学校統合が一つの大きな課題となっている。地域においては課題と捉え、地域コミュニティの



平成14年度から供用が開始された梁川小学校

衰退につながらないよう、住民が知恵を出し合い、学校、行政と連携して取り組むことが重要になる。

適正な規模や学校のあり方については、今後、地域の方々の意見を伺い検討して行く。準備委員会の判断が、幼保施設についても学校再編と合わせて進めるべきとの結論に至った場合は、これを踏まえて再編の一体的な推進を検討する。



なかにし 中西 ひでとし 秀俊 議員(奥和会)